



福祉のまちづくりに
がんばる人たちを応援します。

平成
23年度

助成事業募集

佐賀県地域福祉振興基金では、在宅福祉の普及向上、健康・生きがいつくり等、福祉のまちづくり活動をする団体への支援「地域いきいきさがふれあい基金」を実施しています。「プランはあるけど事業資金が…」という方は助成金を活用してみたいかがですか。

- 募集概要**
- ◎助成対象事業者… 非営利の法人または任意の団体
 - ◎助成額… 事業費の8/10以内
 - ◎助成対象経費… 謝金、旅費、印刷費、通信費、消耗品費、使用料及び賃借料、備品購入費 (事業実施に真に必要なもの) など
- ※団体自体の運営費等は対象としません。

【募集締切】
平成23年
1/31 (月)

<お問合せ・応募先>
財団法人佐賀県地域福祉振興基金
(佐賀県社会福祉協議会まちづくり課内)
〒840-0021 佐賀市鬼丸町7番18号 (佐賀県社会福祉会館内)
TEL0952-23-2145 FAX0952-25-2980

佐賀県地域福祉振興基金 検索

※助成金申請書の様式は、左下のホームページからダウンロードいただくが、90円切手を貼った返信用封筒を左記住所まで送付ください。

12/18 (土) 午前11:30～
STVサカテレビ
週末★ミランパ
でも放送!



わがさがふれあい基金を
わかりやすく
解説します!



子育ての問題をみんなで考える
「かたらんばひろば」

次回
予告
次回は「さがふれあい基金」の
概要などについてご紹介します。
●掲載日:12月18日(土)



親も子どもも元気になる場所

「子育てひろばさんさん」の活動がいなと思うのは「ひとりぼっちの母親」にさせないところ。私も地域で子ども会の活動をやっていますが、母親が「ひとりぼっち」で悩み、疲れて元気がないと、子どもも元気がなくなると、親も子育ては初めてのことばかりです。私たち家族のように、県外から転居して知り合いがいない母親にとって、気軽に話

私も思春期のときは親を「うざい」と思った経験がありますが、いざ自分の子どもが思春期になるとどう接しているのか不安になることもあります。そんな時に子育ての先輩たちからいろんな話を聞いたり、自分の気持ちをぶつけることができる「かたらんばひろば」は経験に基づいた生の声が聞けるところがいいですね。

前回は子育てひろばさんさんを運営する木原さんのインタビューを掲載しましたが、今回は実際にその講座などに参加されている山崎さんのお話を聞いてみました。

”お母さんの元気の源” 思いは『かたらんばひろば』で発散

地域福祉 報告レポート

vol.02
さがふれあい基金で
実現しました!



4年前に長崎から佐賀に転居。「子育てひろばさんさん」が開く「かたらんばひろば」や講演会などに参加している。
参加者
山崎克子さん

せる場所があると、気持ちの負担が軽くなります。若いお母さん方もちょっと悩んでいることや困っていることがあつたら、こういう場に積極的に出かけてほしいですね。遠くの親より、近くに住む話し相手も大切。公民館など地域の中に、親子の居場所や大人の集える場所がもっとたくさんあればいいと思います。

「さがふれあい基金」を活用されているということですが、この助成金で講演会や広報活動が広がって、親子の居場所や語り場が増えていけるなら、そのサポートはとっても嬉しいです。より多くの人にこうした活動に参加してほしいです。母親の元気につながるように「さがふれあい基金」を活用した事業がもっと増えればいいですね。

